

おお大勝利

平成 21 年度山東サッカー部報第 3 号 (5 月 8 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Yリーグ第1節 接戦をものにする

5月2日(土)、U-18Yリーグ(旧県リーグ)一部の第1節の試合が行われました。山東は16:00キックオフの第四試合で山形城北と対戦。山形城北には過去、現三年生が2年前の一年生大会において0-5の惨敗を喫しておりますし、昨年度の県リーグにおいても、ほぼ新人チームの山形城北相手に(新人チーム対決にて)一蹴されていまして、どのくらい選手が成長したかを測るには絶好の相手。やや風があるものの晴天、ピッチ良好。また13:00キックオフのモンテ VS 柏戦がとなりのNDスタジアムであったものですから、16:00くらいには帰りがけに寄った方も見受けられ、ギャラリーは多め。絶好の環境の下で試合が開始されました。

城北は兎に角、前線の選手にスピードのある選手が多く、またセットプレーの精度が毎年高いチーム。得点力あふれる攻撃は要警戒。ただ、着実に伸びてきた山東もその攻撃を受け止めることができるはず、と思いながら選手を送り出しました。前半は両チームともボールがなかなか収まらず、ボールがピッチの地面を行き交うというよりは空中を跳ね回る展開。接近戦に勝る山東がやや優勢に試合を進めるも、着実なビルドアップでは城北の方が上手。**山東はボールをやたらに前線に蹴り上げるばかりで、せっかく集まってくださったOBの方々に失望させてしまう¹。**

後半はやや修正が見られ、局面で数的優位を築き、崩しながら前に進む展開が増える。ただ、チャンスを生むシーンの多くは、前線からのプレッシャーで高い位置(相手ゴールに近い位置)で奪ったボールを素早くつないで攻めた場合(得点となった2年**松永**のコロコロシュートもそんな形から)。後方からの着実なビルドアップには、毎年のことながら課題を残しました。もっとも後半終盤は、敵のロングスロー・CKに苦しめられつつも切り替えの早さを活かして決定的チャンスを何度か作り出すことができたので、1-0は穏当といったところ。磐石の勝利とはいえないものの、しぶとく接戦をものにしました²。

¹ ハーフタイム、山東テントの裏にあったベンチで休憩中のOBの方々にあいさつしたところ、「なして蹴ってばかりいんのや」とお叱りを受けました。あの試合展開では、OBの方々が失望されるのもむべなるかな。指導力のなさです・・・。

² Yリーグ1部の他の試合結果は以下の通り。第1試合 新東1-0山商、第2試合 東海4-0鶴工、第3試合 日大1-1鶴東。

次はいよいよ地区総体。県総体の切符はすでに出場校に配られており³、県総体行きを決めるといふ点からすれば消化試合ですが、昨年も白熱した試合を展開した地区総体。**2年連続の優勝**を目指し、がんばります。

県総体激励会・新入部員歓迎会 盛大に開催

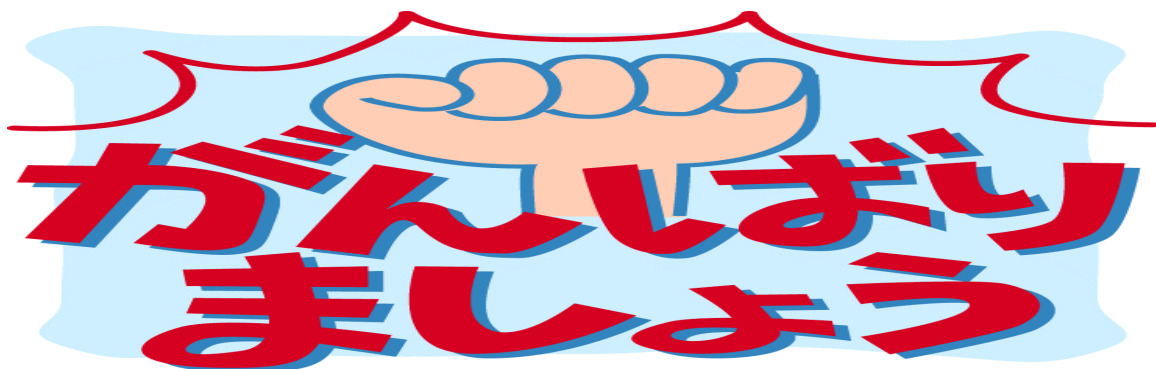
Yリーグと同日夜、メトロポリタン山形にて、保護者会主催の県総体激励会・新入部員歓迎会が行われました。16:00 キックオフの公式戦が天童であったものから、試合終了後、選手も保護者の皆様も、そしてもちろん顧問も、急いでメトロポリタンに集合しました。保護者会総会后、19:45 ほどから、盛大に激励会・歓迎会がスタート。

鬼嶋保護者会会長の勝負におけるメンタル面の重要性を述べた言葉に、参加者一同頷き、清野 OB 会会長がおっしゃった「山東サッカー部の勝利がわれわれ OB に若さ・元気を与えてくれる」とのお言葉に、一同顔を綻ばせました。1年生から3年生までの選手全員のスピーチは頼もしく、ユーモアと意気込みを感じました。特に、普段みんなの前であれこれしゃべらない選手がしっかりとした言葉で堂々とスピーチする姿に出会うと、若干の感動すら覚えました。**今年の県総体は期待できる！**そう感じる事ができた会でした。

そして選手を帰した二次会にも、保護者の方が OB、顧問に声をかけて下さり、参加させていただきました。「選手に『なぜ今回エールをしてくれなかったのか』と訊かれたので『インターハイの激励会まで取っておいてるんだ』と応えた」とのお話の主は、昨年の県新人激励会においてエールを切って下さった**角田さん**。**ぜひ角田さんのエールをもう一度見るために、選手諸君、がんばろうな！！**

地区総体日程

地区総体が別紙の要領で行われます。保護者の皆様、OB の皆様、応援よろしくお願ひします。



³ プリンズ参加の山形中央、Yリーグ一部の東海、城北、日大、山東、山商、およびMリーグを勝ち抜いた山本、山南、明新館の、計9チーム。